

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】令和3年9月30日(2021.9.30)

【公開番号】特開2021-15644(P2021-15644A)
【公開日】令和3年2月12日(2021.2.12)
【年通号数】公開・登録公報2021-006
【出願番号】特願2020-187779(P2020-187779)
【国際特許分類】

G 0 6 F 8/30 (2018.01)

【F I】

G 0 6 F 8/30

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月16日(2021.8.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

特定のプログラムで表示される画面の遷移関係を特定する特定手段と、
前記特定手段で特定した遷移関係に基づき、前記特定のプログラムで表示される複数の画面のうち、特定の画面を基準として、遷移回数が増える遷移元と遷移先の画面の情報を含むことなく、遷移回数が前記所定数までの遷移元と遷移先の少なくとも一方の画面の情報を含む遷移図を表示するように制御する表示制御手段と
を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記表示制御手段は、前記複数の画面のそれぞれを基準として、遷移回数が増える遷移元と遷移先の画面の情報を含むことなく、遷移回数が前記所定数までの遷移元と遷移先の少なくとも一方の情報を含む遷移図をそれぞれ表示するように制御することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記特定手段は、前記特定のプログラムを生成するための定義情報に基づいて前記遷移関係を特定することを特徴とする請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記特定手段は、各画面に対応する入出力定義に従って、各画面の遷移関係を特定することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記特定手段は、前記入出力定義に含まれるアクション情報に従って、各画面の遷移関係を特定することを特徴とする請求項4に記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記特定手段は、前記アクション情報に定義される次入出力情報に従って、各画面の遷移関係を特定することを特徴とする請求項5に記載の情報処理装置。

【請求項7】

前記特定のプログラムは、Webシステムで実行するプログラムであることを特徴とする請求項1乃至6のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項8】

前記複数の画面は、前記Webシステムで用いるクライアント装置で表示される画面で

あることを特徴とする請求項 7 に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記表示制御手段は、前記特定の画面ごとの仕様を表示するドキュメントを生成し、生成された前記ドキュメントと共に、前記遷移図を表示するよう制御することを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記ドキュメントには、前記特定の画面の画面イメージ、画面項目一覧の情報を含むことを特徴とする請求項 9 に記載の情報処理装置。

【請求項 11】

前記所定数は、前記特定のプログラムの開発者によって予め入力された情報に基づく数であることを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 12】

前記所定数が設定された設定ファイルを読み込む読み込み手段を更に有し、前記表示制御手段は、前記設定ファイルに設定された前記所定数に基づいて前記遷移図を表示するように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 11 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 13】

特定のプログラムで表示される画面の遷移関係を特定する特定ステップと、前記特定ステップで特定した遷移関係に基づき、前記特定のプログラムで表示される複数の画面のうち、特定の画面を基準として、遷移回数が所定数を超える遷移元と遷移先の画面の情報を含むことなく、遷移回数が前記所定数までの遷移元と遷移先の少なくとも一方の画面の情報を含む遷移図を表示するように制御する表示制御ステップとを情報処理装置に処理させる処理方法。

【請求項 14】

コンピュータを、請求項 1 乃至 12 のいずれか 1 項に記載された情報処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

そこで、本発明の目的は、より適した画面遷移図を生成する仕組みを提供することである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

特定のプログラムで表示される画面の遷移関係を特定する特定手段と、前記特定手段で特定した遷移関係に基づき、前記特定のプログラムで表示される複数の画面のうち、特定の画面を基準として、遷移回数が所定数を超える遷移元と遷移先の画面の情報を含むことなく、遷移回数が前記所定数までの遷移元と遷移先の少なくとも一方の画面の情報を含む遷移図を表示するように制御する表示制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

本発明によれば、より適した画面遷移図を生成することができる。